

# もり はじ きよてん 森林から創まる「ちくさの拠点」づくり

— みんなで進める地域の基地づくり —

11月7日に「第4回千種生活圏の拠点づくり検討委員会」を開催しました。

これまでの議論からでてきたキーワードをもとに、千種の魅力の活用や課題解決に向けた取組などについて、3班に分かれてワークショップ形式で議論しました。



ワークショップでは、千種の魅力である「地域に根付いた伝統文化」を多世代交流や学習支援として拠点づくりに活かせるのではないかと、「買い物が不便」という課題を解決するために交流するためのスペースを活用できないかなど、様々な視点から活発な意見交換となりました。

次回の委員会でも引き続いてワークショップを行います。それぞれの班からどのようなアイデアがでてくるのか楽しみです。

また、ワークショップの前には社会福祉協議会で生活支援コーディネーターをされている森井裕矢さんに福祉の視点からみた地域の現状や、地域づくりへの取組についてお話をいただきました。



森井さんありがとうございました！

福祉の指標を用いて地域の現状についてご説明いただいた後、地域に住む人が支え合える地域づくりについて分かりやすく説明していただきました。

※説明をまとめた内容の一部を裏面に記載しています。

● だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり（概要）

今、地域では

- ・人口の減少
- ・少子高齢化
- ・単身世帯の増加
- ・空き家の増加
- ・介護を必要とする人の増加

が進んでいます。

その結果、介護・医療に関する費用や負担が増加しています。  
いつまでも住み慣れた地域で、自分らしい生活を送るためには、介護予防や健康づくりのほか、地域での支え合いが大切です。

例えば

- ・声かけによる見守り
- ・おすそ分け
- ・買い物やゴミ出しのお手伝い
- ・気軽に寄れる集いの場づくり など出来る範囲での支え合い

個人にかかってくる負担や不安をこのような地域での支え合いを通じて、みんなで解決していくため、ご近所や地域で支え合える地域づくり、仕組みづくりを進めています。このように福祉の視点は地域づくりを進めていく上でも大事な要素となります。

前回の委員会で、千種町は「人柄があたたかく、年長者を敬う風土」が魅力という意見がありました。この風土を大事にしていくことが、子どもから高齢者まで誰もが住みやすいまちづくりに繋がるのではないかと思います。

次回の委員会は 12 月 5 日(火)午後 6 時からセンターちくさで開催します。

■ 千種生活圏の拠点づくりに関するお問合せ先

穴粟市役所企画総務部 地域創生課

電話：0790-63-3066

FAX：0790-63-3060

e-mail：chiikisosei-kk@city.shiso.lg.jp

千種市民局まちづくり推進課

電話：0790-76-2210

FAX：0790-76-8020

e-mail：ch-machizukurisuishin-kk@city.shiso.lg.jp

